

GO! 2030

エス ディー ジーズ

SDGsとは

サステナブル ディベロップメント ゴールズ
Sustainable Development Goals
持続可能な開発目標
2030年までに達成すべき
世界共通の目標

SDGs基本理念 「誰一人取り残さない」



1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を表現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	<h2>世界の未来を17の目標 変えるための17の目標</h2> <p>「世界の話で私たちには関係ない」と思われるかもしれませんが、17個の目標の中には私たちの生活と密接に関係しているものが多く存在します</p>				
14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう					

SDGsが達成できなかつたら 世界はどうなってしまうの？

経済問題

- 経済格差の拡大
- 雇用問題
- 社会福祉財源の不足



社会問題

- 貧困
- 差別
- 少子高齢化
- 感染症の流行



環境問題

- ごみ問題
- 地球温暖化の進展
- エネルギー問題の深刻化
- 水問題の深刻化
- 干ばつ



住みにくい地球になってしまおう

SDGsの目標達成に向けて 身近にできること

～エシカル消費の視点から～

人・社会・地域・環境に配慮した消費行動

2 飢餓をゼロに



目標

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

市場における貿易制限や歪みを是正及び防止



飢餓の撲滅と安全で栄養のある食料の提供

持続可能な食料生産システムの確保



12 つくる責任 つかう責任



目標

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

浪費的な消費となる化石燃料の非効率な補助金を合理化



大企業や多国籍企業などに対する持続可能な取り組み導入

1人当たりの食料廃棄を減らす



認証マークを意識する

人や環境や社会に配慮して作られた商品にはマークがついています

マーク付きの商品を購入することで、貧困や環境破壊の背景にある不当に安い値段での取引の減少につながります

①国際フェアトレード認証ラベル

対象産物は、コーヒー、チョコレート、紅茶など多岐に渡ります

途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に取引された商品であることを示します

②GOTS認証（オーガニックコットン）

環境や社会に負荷を掛けない方法で従業者の人権や安全を守り製造された繊維製品であることを示します

③MSC認証（海のエコラベル）

海洋の自然環境や水産資源に配慮して獲られた水産物であることを示します



詳しくは富山県消費者協会のホームページをご覧ください <https://www.tomisyokyo.org/ethical>

食品ロスを減らす

日本はまだ食べられる食品を捨てている「食品ロス大国」のひとつです

食品ロスは年間612万吨もあり、家庭でも多く発生しています



http://www.env.go.jp/recycle/food/post_30.html

①手前どりを心がける

買い物をする時、手前にある賞味期限・消費期限の近いものから買いましょう

②何が必要なのか確認し、重複した買い物を防ぐ

③食事を残さないようにする

④期限が切れる前に、寄付をして食べてもらう



地元を大切にする

①地産地消

- ・南砺市で生産されたものに対してお金を消費
→地元の生産者や南砺市全体にも還元され、活性化につながります
- ・輸送時のエネルギーを削減
→地球温暖化などの環境問題解決に貢献します
- ・新鮮な食品を食べられる

②伝統工芸品を買う

- 南砺市の伝統継承につながります
例) 井波彫刻、五箇山和紙、城端絹織物



③森林資源の活用

- 例) なんとペレット（破碎した木材を圧縮成形した固形燃料）
ストーブ、ボイラーなどの燃料として使用する
→カーボンニュートラルの実現につながります

ごみを減らす

ごみを燃やした時に発生する二酸化炭素は地球温暖化の原因になります

①過剰包装の商品を買わない

→過剰包装反対の意見が企業に伝わり、ごみが減るきっかけになります

②マイバックを持参する

→プラスチックごみの削減につながります

③繰り返し使用できる商品を買う



買物は投票です = 買い物が地球の将来を変えていく手段になります

視野を広くして、商品が完成するまでの背景や企業の活動、使用後の商品のゆくえにまで目を向けましょう